

快眠・健康・くつろぎをテーマとした 製品の市場開拓

大東寝具工業 株式会社

代表取締役 大東 利幸さん



大東 利幸さん

“快適とくつろぎの創造工房”

大東寝具工業株式会社は、大正14（1925）年創業の老舗寝具メーカーです。現在も事業の軸をなすのは寝具・寝装品ですが、10年ほど前から、長年にわたって蓄積してきた知識・技術を活かし、業界の垣根を越えたモノづくりを展開してきました。素材や機能性にこだわったハウスウェア・クッションなどのホームファッション、健康の維持・改善を目的としたスリーピンググッズ、そうした商品の売り場展開におけるパッケージ化を視野に入れた天然木の家具などを開発・販売しています。

そのきっかけについて、同社の3代目である代表取締役大東利幸さんはこう話します。「寝具の売り上げが冬の4分の1ほどになる夏のボリュームアップを図りたいと思ったのが出発点です。商材を探しているなかで、昔ながらの和晒（わざらし）という綿加工の工程に出合いました。和晒で仕上げた柔らかなガーゼ生地と、いかに空気層を保つかが快適さを決定づける寝具づくりのノウハウを組み合わせれば、オリジナリティある商品を作ることができるのではないかと考えました」。

こうして生まれたホームファッションブランド『京和晒綿紗（きょうわざらしめんしゃ）』は、平成19（2007）年に京都高度技術研究所のオスカー認定を受けました。さらにその翌年には、並行して開発を進めていたクッション座椅子『tetra（テトラ）』が経済産業省の地域資源活用プロジェクト認定品となり、同社は、“快適とくつろぎの創造工房”として歩み始めたのです。



『京和晒綿紗』のベビー用品。ギフトとしての提案を展開中です。

『眠りの蔵』事業の実現に向けて

応援ファンド支援事業として採択されたのは、ホームファッション、家具、スリーピンググッズのさらなる市場開拓です。これは同社にとって、中期計画事業として進めつつある『眠りの蔵』事業の確立に向けた、初年度事業でもあります。『眠りの蔵』とは、当社が展開する快適とくつろぎのための製品販売にとどまらず、空間プロデュースを目的とした住宅リフォーム事業も融合させ

鉱工業品の活用

た生活提案型サロン。「当社の柱である寝具も含めて、快眠やくつろぎをもたらす製品や空間を体感・体験できる“眠りの情報発信基地”にしたいと考えています」と大東さん。その構想の礎となっているのは、「お客様と接する頻度こそが、選んでいただけるか否かのカギになる」という思いです。「例えば、お布団の購入を機に当社を知ったお客様は、我々と接するなかで、当社の眠りに対するこだわりや、その延長線上で『京和晒綿紗』というブランド、家具づくり、部屋のリフォームも手掛けていることを知ってくれるのだと思うのです。そうやって既存のお客様を他の事業につなげていくためには、しっかりと、お客様と接する場が必要不可欠。製品の改良に活かせる声が聞ける場としても大切にしたいですね」。現在は『眠りの蔵』構想の一環として、本社の店舗を改装中。カフェを併設し、平成26（2014）年2月にオープンする予定です。



睡眠外来専門医とともに開発した横臥寝姿勢サポート寝具『Soo Soo PLUS』

既存製品の育成と新製品開発に着手

ホームファッションの市場開拓に向けては、“肌に優しい無添加ガーゼ”使用という『京和晒綿紗』の特性を活かしたベビー用品について、新しくギフトパッケージをつくりました。平成25（2013）年夏に出展したファッション関連の展示会でもギフトとしてアピール。すでに『京和晒綿紗』のガーゼハンカチは、結婚式の引出物として受注した実績もあり、新たな顧客層の広がり期待しています。また、スリーピンググッズでは、以前に開発した逆流性食道炎対策用の傾斜寝姿勢サポート枕の好評を受けて、いびき対策の横臥寝姿勢サポート枕『Soo Soo PLUS』を開発。睡眠クリニックでの終夜ポリグラフィ検査などで横臥寝の有用性を確認しながら、睡眠時無呼吸症候群対策用として使えるよう、朝まで快適に横臥寝を保つことのできる設計を検証・追求したもので、平成24（2012）年秋から販売を開始しています。

そして、こうした商品群を展開するうえで重要な位置づけにあるのが、ディスプレイ用什器としての活用も見据えた木製家具ブランド『Doki Doki（ドキドキ）』の商

品開発です。檜や檜といった高級木材を用いたハンガーラック、テーブル、ベッドなどを販売しています。



百貨店の期間限定ショップでもオリジナル家具を使ったディスプレイを実現



顧客の身長などに合わせて作り上げたオリジナルベッド

目標は、眠り事業のプラットフォーム化

平成23（2011）年に建築士である実弟を迎えて立ち上げたリフォーム事業も平成25年度から本格化し、『眠りの蔵』の実現に向けての環境は整いつつあります。その先にある目標を伺うと、「眠り事業のプラットフォーム化」という答えが返ってきました。「お客様はもちろん、睡眠という分野でパートナーを探している企業にとっても、“眠りといえば大東寝具”と言われるような存在でありたいと考えています。お客様一人ひとりのニーズに応えていくうえで、他企業との協業が進めることがベストであるケースも多いはず。また、そうしたコラボレーションが、新たなビジネスの可能性に気づく機会となるかもしれませんから」。このあくなきチャレンジ精神と探究心こそが、同社の原動力となっているのです。

事業概要

大東寝具工業株式会社
http://www.daitoushingu.com/
代表：代表取締役 大東 利幸
業種：寝具・寝装品・ホームファッション事業、住宅
リフォーム・建築・インテリア事業、眠りの支援事業
創業：大正14年11月
住所：〒612-8238 京都市伏見区横大路下三栖山殿66-2
TEL：075-622-6245 FAX：075-622-1337